

令和5年度（2023年度）行政評価シート【個表】 令和 5 年 8 月 10 日

評価対象事業		評価者	市民健康課長	石黒 知美
健福-42	救急医療対策事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	市民健康課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	健康長寿社会の構築

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の急病などに対応するため。
効果	休日・夜間の急病に迅速な対応を行う。

2 令和4年度(2022年度)に実施した事業の概要

・休日、夜間に地域医療センターで小児科を含む内科の急患診療を行った。また、ゴールデンウィーク及び年末年始に加え、繁忙期(12月～2月)の日曜日及び祝日も二科体制での診療を行い、小児救急体制を充実させた。感染症対策として、休日夜間急患診療所機能を、材木座保育園跡地に拡充し、新型コロナウイルス流行時には、医師、看護師及び事務職員を増員し診療した。
 ・緊急の入院や手術が必要な患者に対し、医療体制整備を委託し、休日、夜間、土曜に内科・外科の診療を行った。
 ・市民からの医療機関の問い合わせに対し、医療機関案内を行った。毎夜間(23時～翌朝9時)、土曜日(9時～18時)については、音声自動応答により救急医療機関の案内を行った。
 ・休日昼間に歯科急患診療を行った。また、毎週木曜に障害者歯科診療を行った。
 ・鎌倉市内の救急医療機関において、医療費の負担能力に欠ける外国籍市民に係る救急医療に関し発生した損失医療費については、申請がなく、補助金の交付は行わなかった。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業(主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値)	
01	休日夜間急患診療所事業	・休日夜間急患診療所 ・小児救急医療対策 ・二科体制	休日夜間急患診療所の小児科医配置率(%)	60 / 100	58,260 / 56,748	100 58,691	59.7%
02	二次救急医療確保事業	・病院群輪番制 ・単独医療機関制	-	/	89,933 / 89,933	90,484	
03	夜間医療機関案内事業	・救急医療案内	-	/	264 / 826	324	
04	口腔保健センター事業	・障害者歯科診療	患者数(人)	448 / 427	10,643 / 10,644	448 0	104.9%
05	口腔保健センター事業	・休日急患歯科診療 ・障害者歯科診療	患者数(人)	623 / 727	9,712 / 9,767	748 0	85.7%
06	口腔保健センターの維持管理、維持修繕等事業	・口腔保健センター警備 ・診療設備賃借 ・維持修繕	-	/	3,533 / 3,951	0	
07	外国籍市民救急医療助成事業	・外国籍市民救急医療助成事業 ・外国籍市民救急医療対策費レセプト審査手数料	-	/	0 / 3	3	
08				/			
09				/			
10				/			
			国県支出金	4,740 / 5,030		5,071	
			地方債	/			
			その他特定財源	4,790 / 1,539			
			一般財源	162,815 / 165,303		144,431	
			事業費の合計(千円)	172,345 / 171,872		149,502	
			人件費(千円)		5,317	3,897	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.8	0.5	0.7	0.5		
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	休日夜間急患診療所 事業	小児科受診者数が年々増加している傾向にあり、ニーズが高まっていると考えられるが、小児科医が不足しているため、小児科医配置率は前年同水準にとどまった。	休日及び夜間の内科・小児科の救急医療体制を整備し、急患に対応することで、健康長寿社会の構築に寄与した。	小児科医の配置を増やせるよう、関係機関と調整していく。
02	二次救急医療確保事業	県内他市における同事業について、複数の市町村で共同で実施をしているケース等、実施体制が異なる面があり、指標となるベンチマークの設定ができない。	休日、土曜日及び夜間における緊急の入院や手術が必要な患者に対し、内科及び外科の医療体制を整備することで、健康長寿社会の構築に寄与した。	—
03	夜間医療機関案内事業	県内他市と異なり、本市は自動音声案内を用いるなど業務内容が大きく異なることから、指標となるベンチマークの設定ができない。	市民の医療機関の問い合わせに対し、医療機関案内を実施した。夜間には音声案内により、救急病院の案内をすることで、健康長寿社会の構築に寄与した。	—
04	口腔保健センター事業	障害者歯科診療の患者数の目標値を達成できている。	一般の歯科診療では対応が難しい障害者の方に対して、専門医の協力の基で診療を実施し、健康長寿社会の構築に寄与した。	年々高まりつつある障害者歯科診療のニーズに合わせて、診療時間・日数等の運営体制を歯科医師会と協議を行い、令和5年度から日数等を拡充する。
05	口腔保健センター事業	障害者歯科診療の患者数は伸びているものの、休日急患歯科診療所の患者数は減少しており、合計値は目標値に届いていない。土日に開設している歯科医院が増えていることが影響していると考えられる。	休日の歯科における急患に対し診療を実施することで、健康長寿社会の構築に寄与した。	—
06	口腔保健センターの維持管理、維持修繕等事業	事業として、指標を設定することが適さない。	維持修繕及び巡回警備により、口腔保健センターの環境を整備した。	—
07	外国籍市民救急医療 助成事業	指標となるベンチマークがないため。	実施はなかったが、外国籍市民の救急医療費における不測の事態に対応する事業として、健康長寿社会の構築に寄与した。	—
08				
09				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー	

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 拡充 改善・変更 現状維持 縮小 休止・廃止

口腔保健センターにおける休日急患歯科診療と障害者歯科診療のそれぞれの需要を鑑み、「口腔保健センター運営事業」として独立させ、障害者歯科診療の拡充を図る。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	休日夜間急患診療所の小児科医配置率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
小児科受診者数が年々増加している傾向にあり、ニーズが高まっていると考えられるため	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	実績値	60.0	60.1	59.7				
	達成率		60.1%	59.7%				

指標(単位)	休日急患歯科診療所の患者数(障害者歯科診療も含む)						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
休日急患歯科診療及び障害者歯科診療について、それぞれのニーズの推移を見ながら歯科医師会と診療日数・診療時間等の調整を図っていくため	目標値		706	727	748	770	794	
	実績値	606	671	623				
	達成率		95.0%	85.7%				

指標(単位)	障害者歯科診療の患者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
障害者歯科受診者数が年々増加している傾向にあり、ニーズが高まっていると考えられるため	目標値		406	427	448	470	494	
	実績値	387	463	448				
	達成率		114%	105%				

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	令和4年度休日夜間急患診療所の小児患者(上段:小児患者数/下段:患者のうち小児患者の占める割合)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	逗子市				
他市実績	1,170	8,525人	4,806人	246人				
	39%	36%	35%	13.1%				

比較事項	令和4年度障害者歯科診療の延べ患者数及び実施日数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	逗子市				
他市実績	448人	3,797人	1,282人	217人				
	47日	188日	96日	90日				

比較事項	令和4年度休日急患歯科診療の患者数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	逗子市				
他市実績	175人	386人	287人	149人				
	72日	72日	72日	71日				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	(休日夜間急患診療所)休日夜間急患診療所における小児患者の割合は他市よりもやや高い。小児科診療のニーズに対応するため、今後も高い配置率を維持する必要がある。 (口腔保健センター)障害者歯科診療の診療日数は他市よりも少ない。患者数増に対応していくために、診療時間・日数等の運営体制を歯科医師会と協議を行い、令和5年度から日数等を拡充する。							
----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--